

検証意見書

2016年8月1日

カシオ計算機株式会社 御中

検証目的

SGSジャパン株式会社(以下、当社)は、カシオ計算機株式会社(以下、組織)からの依頼に基づき、組織が算定した温室効果ガス排出量、取水量、廃棄物発生量及び大気汚染物質排出量(以下、GHG等に関する主張)について、ISO14064-3:2006及び当社の検証手順(以下、検証基準)に基づいて検証を実施した。

本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関する主張について、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。

検証範囲

検証対象範囲は、カシオ サステナビリティレポート 2016 において報告される GHG 等に関する主張(対象期間 2015年4月1日~2016年3月31日)である。

温室効果ガス排出量は、Scope1,2(エネルギー起源の二酸化炭素排出量)、Scope3(カテゴリ1、4、11)を対象としている。

検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：山形カシオ(株)本社、羽村技術センター、カシオ電子工業(株)の現地検証及び証憑突合、及び、カシオ計算機(株)本社におけるその他検証対象範囲に対する分析的検証及び質問

判断基準は、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver4.0)及び組織が定めた手順を用いた。

結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関する主張が、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

SGSジャパン株式会社

認証・ビジネスソリューションサービス
事業部長

竹内 裕二

上級経営管理者

